

ワーキング・グループの設置等について

平成 24 年 9 月 28 日

基本問題・影響調査専門調査会

1 設置

基本問題・影響調査専門調査会（以下「調査会」という。）において、「日本再生戦略」（平成 24 年 7 月 31 日閣議決定）の重点施策の一つとして位置づけられた「『女性の活躍促進による経済活性化』行動計画」を受け、同計画において検討することとされた以下の課題等につき、主に法制的な観点から調査検討を行うため、調査会に「女性の活躍促進ワーキング・グループ」を設置する。

- ・ 公共調達を通じた女性の活躍の推進方策の検討
- ・ 女性の活躍を支援するための事業等の在り方の検討
- ・ 国家公務員の採用・登用におけるポジティブ・アクションの検討

2 構成

ワーキング・グループは、別紙の委員により構成する。

3 運営

ワーキング・グループの運営は、調査会運営規則の規定するところに準ずるものとし、これにより難しい場合には、座長が、ワーキング・グループの意見を聞いて、取扱いを定めるものとする。

女性の活躍促進ワーキング・グループ 委員名簿

平成24年9月28日現在
(50音順、敬称略)

上村 敏之	関西学院大学教授
碓井 光明	明治大学大学院教授
岡田 真理子	和歌山大学准教授
※岡本 直美	日本労働組合総連合会会長代行
◎※鹿嶋 敬	実践女子大学教授
榊原 智子	読売新聞東京本社編集局社会保障部
※辻村 みよ子	東北大学大学院教授
中窪 裕也	一橋大学大学院教授
藤谷 武史	東京大学社会科学研究所准教授
巻 美矢紀	千葉大学大学院准教授
山川 隆一	慶應義塾大学大学院教授
山本 隆司	東京大学大学院教授

(◎座長、※印：男女共同参画会議議員)

基本問題・影響調査専門調査会運営規則

平成23年3月28日

基本問題・影響調査専門調査会

（調査会の運営）

第1条 基本問題・影響調査専門調査会（以下「調査会」という。）の議事の手続その他調査会の運営に関しては、法令及び男女共同参画会議運営規則に定めるもののほか、この運営規則の規定するところによる。

（調査会の招集）

第2条 調査会は、会長が招集する。

（委員の欠席）

第3条 調査会に属する議員又は専門委員（以下「調査会委員」という。）が調査会を欠席する場合は、代理人を調査会に出席させ、又は他の調査会委員に議決権の行使を委任することはできない。

2 調査会を欠席する調査会委員は、会長を通じて、当該調査会に付議される事項につき、書面により意見を提出することができる。

（議事）

第4条 調査会は、会長が出席し、かつ、調査会委員の過半数が出席しなければ、開くことはできない。ただし、会長は、調査会の議題等により必要があると認めるときは、調査会委員の過半数が出席しない場合であっても、調査会を開くことができる。

2 議事は、出席した調査会委員の過半数をもって決し、可否同数の場合には、会長の決するところによる。ただし、前項ただし書の規定により開かれた調査会においては、議決することはできない。

（会議の公開）

第5条 調査会の会議は公開とする。ただし、会長は、公開することにより公平かつ中立な審議を保障する静謐な環境の維持に支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議を非公開とすることができる。

2 会長は、会議における審議秩序の維持のため、傍聴人の退場を命ずるなど必要な措置をとることができる。

（ワーキング・グループ）

第6条 調査会は、必要に応じ、ワーキング・グループを設置することができる。ワーキング・グループの座長は、会長が指名する。

（議事要旨）

第7条 会長は、調査会の終了後、速やかに、当該調査会の議事要旨を作成し、これを公表する。

(議事録)

第8条 会長は、調査会の議事録を作成し、当該調査会の出席委員に諮った上で、これを公表する。

(会長代理)

第9条 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する調査会委員が、その職務を代理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、調査会に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この決定は、第1回の調査会から適用する。